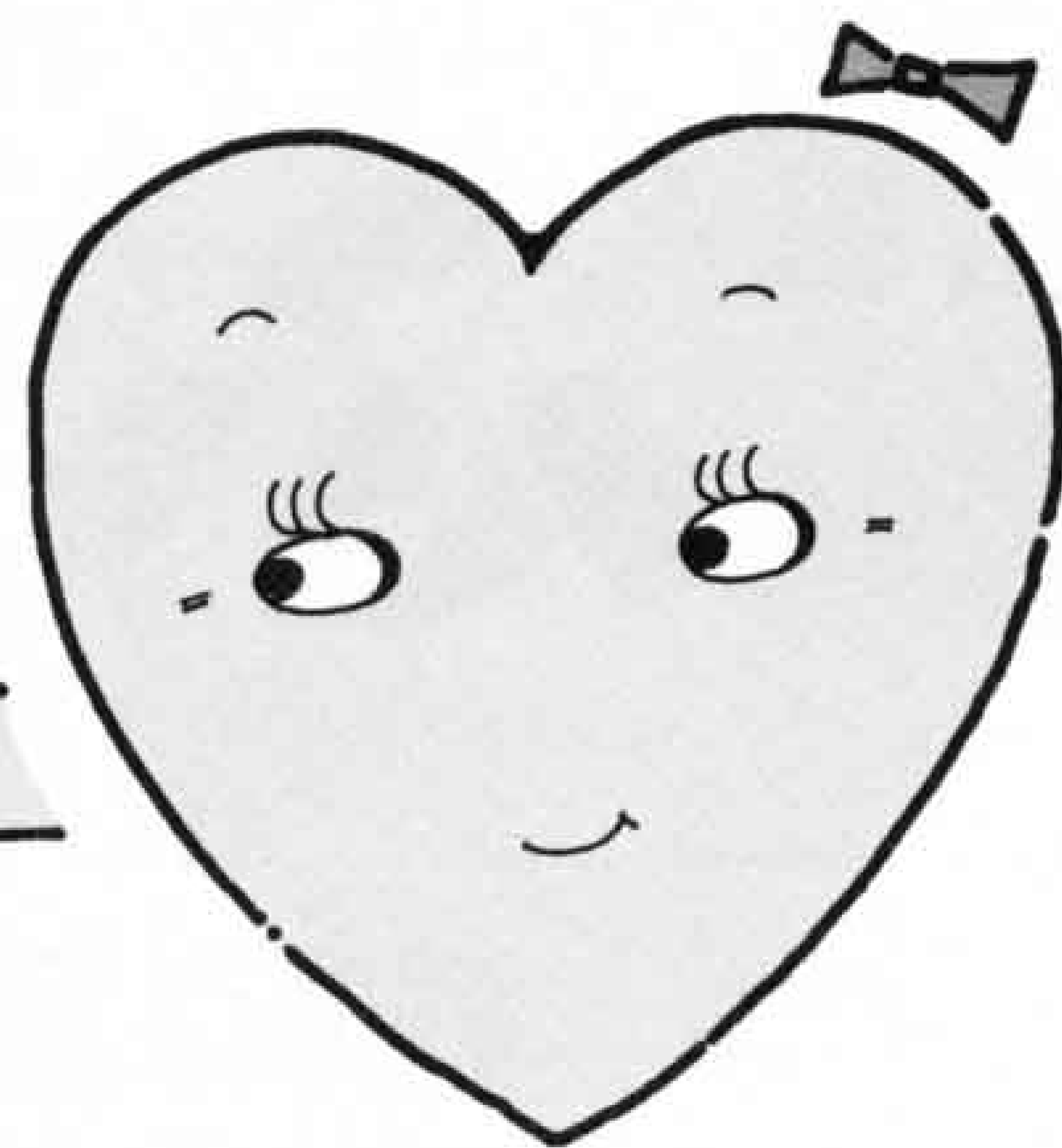


人の命を救う



健康な人から

病気の人への贈り物

白い車体に赤い十字をつけた大型バスが、富士駅前や市役所西口などにとまっているのを、見かけたことがあるでしょうか。沼津の赤十字血液センターからやって来た、献血車です。緊急の事故や手術など、輸血の必要な人のために、善意の血液を求めて各地を巡回しています。平成元年度は、市内で一万千十八人が献血し、一万七千三百三十九本の血液が使われました。

今回は、見知らぬ人の命を救う、献血についてお知らせします。

献血で

健康チエツク

二百名の献血をすると、次のような検査結果を知らせてもらえます。定期的に献血すれば、自分自身の健康管理にも役立ちます。ABO式血液型 輸血のときに最も大切な血液型（赤血球の型）で、日本人は、四〇％がA型、三〇％がO型、二〇％がB型、一〇％がAB型です。あなたは自分の血液型を知っていますか。輸血は、同じ型を使います。Rh式血液型 赤血球にはAから

Dまで、五つのRh因子があります。そのうちのD因子がある人をRhプラス（陽性）、ない人をRhマイナス（陰性）といえます。日本人はマイナスが少なく、二百人に一人ぐらいです。もちろんマイナスの人には、マイナスの血液を輸血します。

梅毒 陽性を示した場合、輸血用血液として使えません。

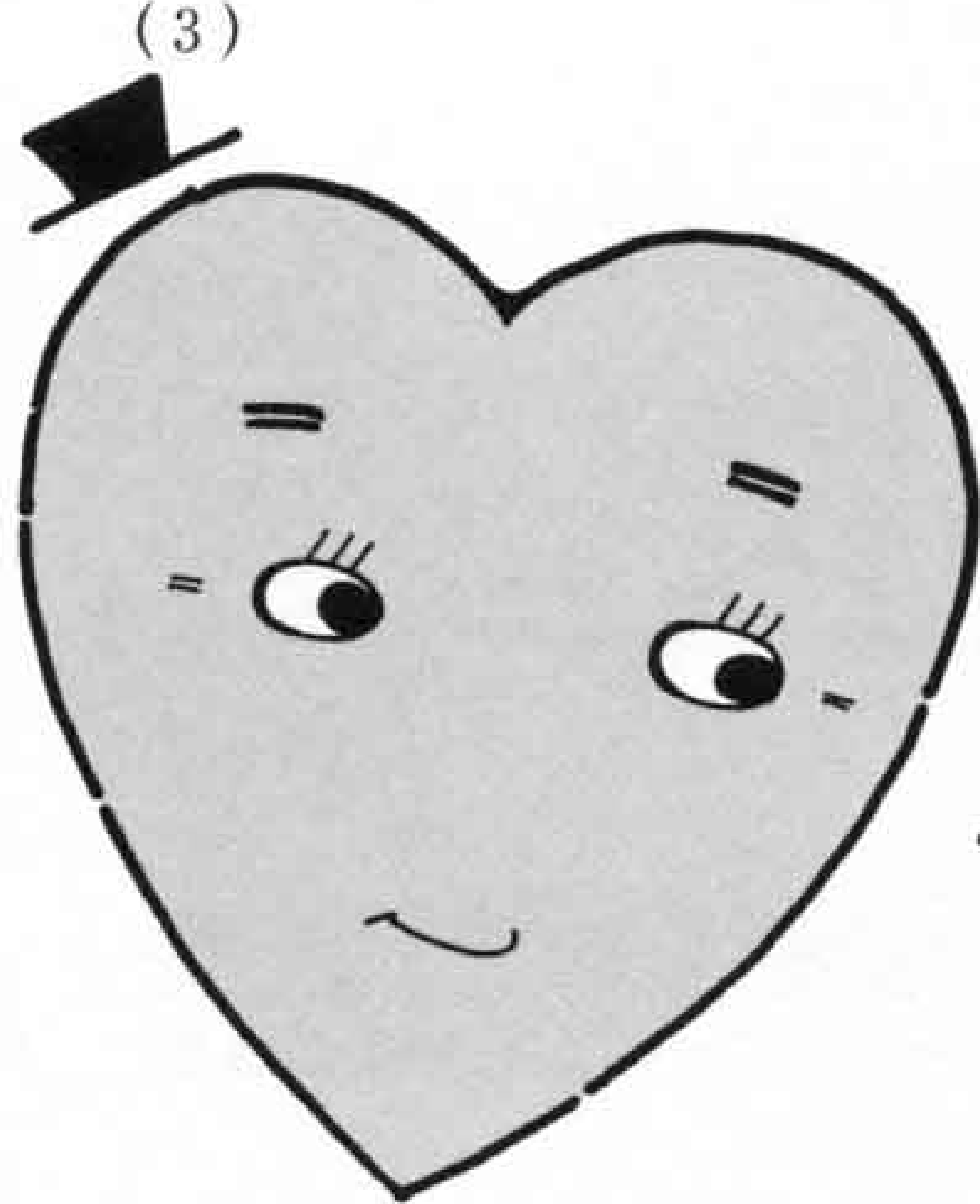
HBs抗原 B型肝炎ウイルスに感染していないか調べます。

血清トランスアミナーゼ 肝臓に含まれる酵素の一種で、肝炎などで肝臓の細胞が障害を受けた



(全血献血) 200ミリリットルは2・3分、400ミリリットルでも4・5分で終わります。

献血は見知らぬ



ときに数値が上昇します。アルカリフォスファターゼ 骨の成長期や妊娠中に数値が高くなりますが、肝臓や胆道が悪いときにも高くなります。総たんぱく 病気などで栄養が悪くなったり、肝臓や腎臓が悪くなると、数値に異状がでます。アルブミン アルブミンもたんぱく質の一種です。総たんぱくとほぼ同様の意味があります。A/G比 Aはアルブミン、Gはグロブリンで、その比が適正かどうかの指標です。体に異状があると、この比が低くなります。尿素窒素 腎臓の働きが悪いと、高い数値になります。コレステロール 中高年者には最も気になる数値ですが、これが高いと動脈硬化が促進されると言われています。脂肪の多い食事をとり過ぎていたり、肝臓、腎臓、すい臓、胆道などが悪いときにも高くなります。また、四百ミリ献血や成分献血をした人には、赤血球数、ヘモグロビン量、白血球数、血小板数なども調べ、お知らせしています。このように、献血のたびに肝炎の感染、肝臓・腎臓の機能などを調べてもらえます。ちなみに、昨年度静岡県内では二十二万三千二百四十四人の献血者がありましたが、前記の検査等で不合格（輸血用として使えない）となった人が、一万三千六百六十九人ありました。この数は、全体の六・一％にあたります。

市内の献血は

少し低調

献血は、主に沼津の日本赤十字血液センターからやって来た、献血車で行われます。献血車は三台あり、県東部の市町村を巡回します。

巡回は、特定の地域に住む人を対象にしたもの、工場・事業所の従業員を対象にしたもの、高校・大学の生徒・学生を対象にしたもの、駅など人の多く集まる場所での不特定の人を対象にしたものの、四つに分けています。昨年度市内で献血した人は、一

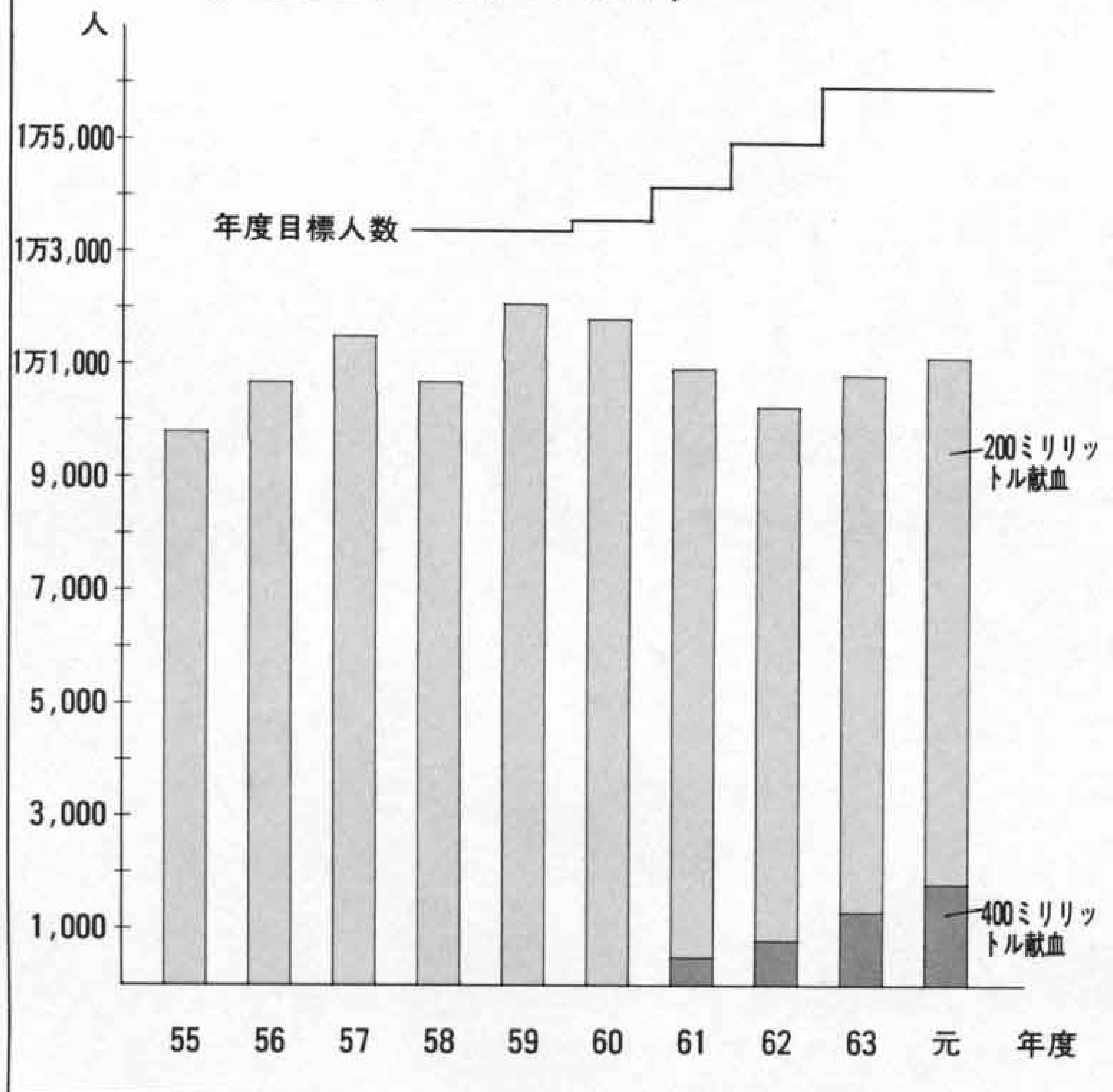
目標八十回

献血は、十年以上前から始めたので、合計で五十五回になります。ほかに役立てるものがないので、せめて血液をと思い、十回、三十回、五十回と、目標を立てながら続けてきました。献血ができなくなる六十五歳まで、あと十年ありますから、八十回まで頑張りたいと思います。



渡辺伊太郎さん (富士見台)

◆富士市の献血人数◆



万千十八人でしたが、工場・事業所での献血が最も多く全体の約半分、五千五百四人でした。次いで地域、学域、街頭の順で、不特定の人を対象とした駅前などでの献血は、以外と少ない人数となっています。昨年度の目標は一万六千人でしたが、達成率は約六九％と低調でした。

全血献血は二百と四百ミリリットル

私たちの体内を流れている血液の量は、個人差はありますが、男性は体重一キロにつき約八十リットル、女性

性は七十リットルです。体重五十キロの男性では四十リットル、女性では三十リットルの血液量となります。体内の血液量の一五％以内（男性六百リットル、女性五百二十五リットル）が失われても、医学的には問題ありません。

現在の献血量は、二百と四百リットルですから、十分この範囲に入ります。また、私たちとほぼ同じ体格の東南アジア諸国を含めた諸外国では、以前から、三百から五百リットルの献血が、安全に行われています。献血できる年齢は、十六から六十四歳までで、ほかに体重制限などもありません。ちなみに採血後数時間で血液量はもとにもどります。



△血液の比重測定のために採血



△外で受付



△献血者を待つ移動採血車

こうして
献血

ふやしていきたい

成分献血

成分献血は、簡単な装置を使っ
て、自動的に血液中の血漿や血小
板だけを献血する新しい方法です。
この場合、赤血球は献血者の体に
戻ります。最も回復の遅い赤血球
を戻しますので、体への負担が軽
く、一・二週間の間隔で献血でき
ます。

成分献血は、白血病や血友病な
どの治療に欠かせない、血漿分画
製剤の主原料となります。

成分献血の装置は、沼津や静岡
の血液センターにはありますが、
富士市を巡回する献血車には積ん
でいません。そのため現在は、沼
津まで出かけることとなります。
しかし、これでは献血者数が少な
いため、十月一日から県や市町村
の庁舎に装置を持ち込む、出張成
分献血を始めました。

ちなみに、昨年度沼津の血液セ
ンターで成分献血した人は三百六
十六人、内四十六人が富士市民で
した。また、今年度は、九月二十
日までに三百六十九人で、すでに
昨年度を上回っています。
来年の二月二十一日には、市庁
舎で、出張成分献血を行います。

血漿分画製剤の

原料が不足

血漿の約九〇％は水で、残りの
一〇％が固形成分ですが、その内
の約七〇％がたんぱく質です。た

んぱく質には、凝固因子、アルブ
ミン、免疫グロブリンなど、多く
の種類があります。

凝固因子はさらに、十二種類に
分かれますが、その内の第Ⅷ因子
と第Ⅸ因子は、血友病の人に欠か
せないものです。

アルブミンは肝臓でつくられ、
血管内に水分や塩分を保持するた
めに必要な、浸透圧を維持する重
要な働きをし、急な出血ややけど
などの治療に使われます。また、
ビタミンやホルモンなどを運ぶ働
きもしています。

免疫グロブリンは、白血球の一
種のBリンパ球でつくられます。
細菌やウイルスなどの感染症から
体を守る働きをします。

このように、血漿中のたんぱく
質には、人が生きていくために欠
かせない重要な働きがあります。
この血漿の中にある凝固因子、ア
ルブミン、免疫グロブリンを化学
的に分離して取り出すことを分画
といい、このようにしてつくられ
たものを血漿分画製剤といいます。

血漿分画製剤は、日本各地で集
められた血漿を原料に北海道の血
液センターなどでつくられていま
すが、その量は使用量の一〇％に
もなりません。そのため、原料と
なる血漿の九〇％は、外国からの
輸入に頼っています。

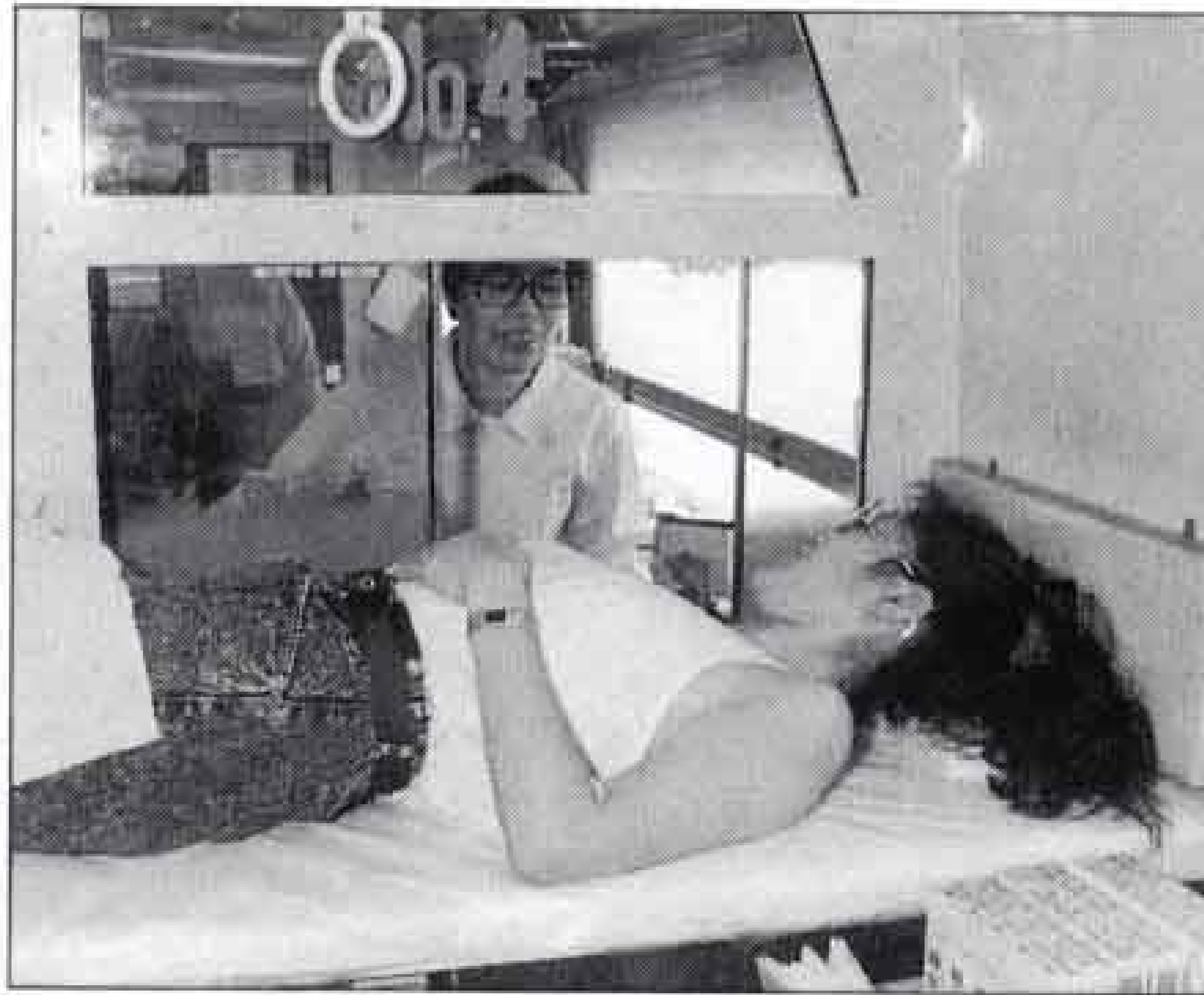
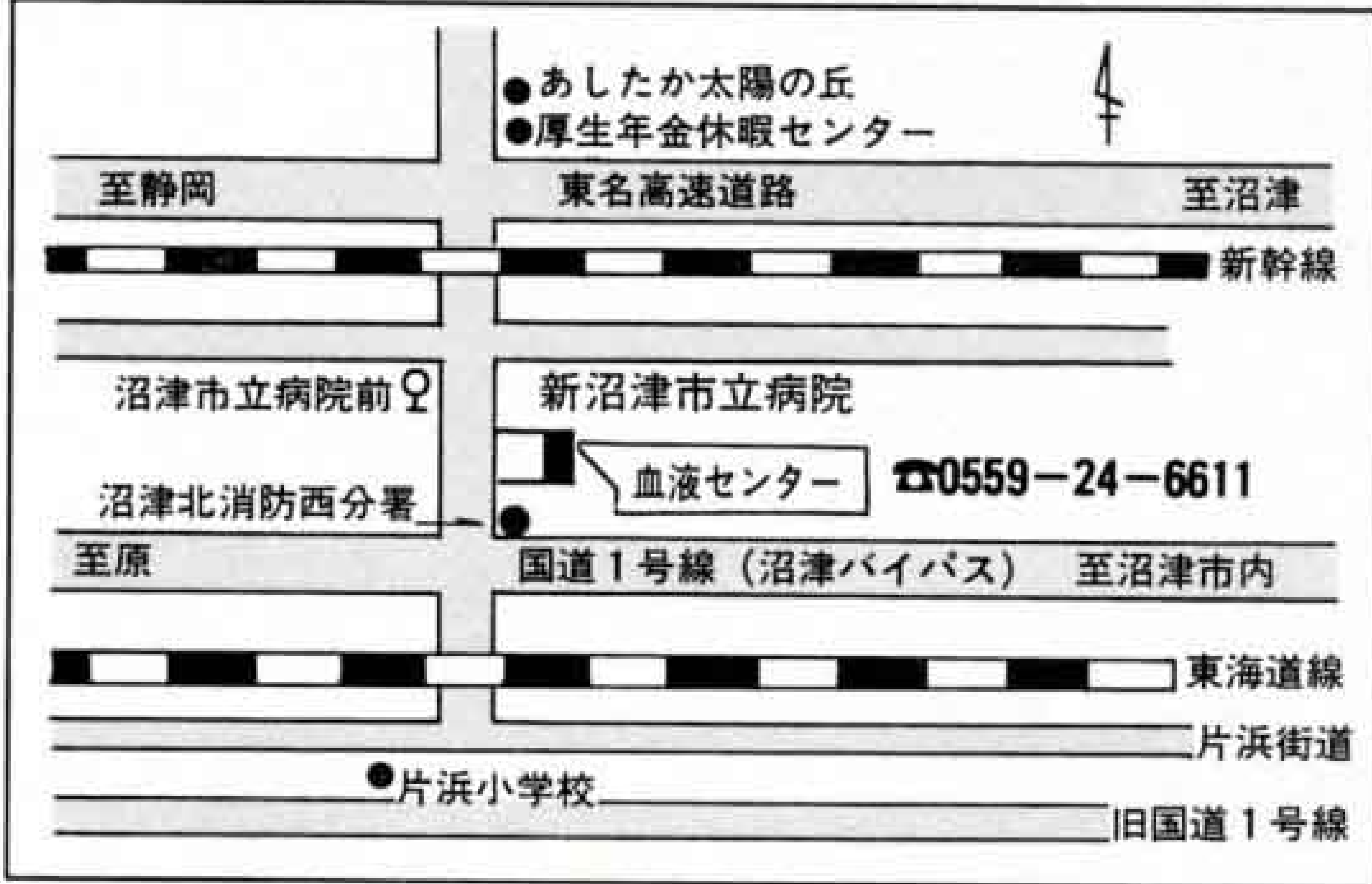
輸入血漿については、エイズ患
者が発生するなど、深刻な問題も
起きているため、成分献血の普及
が急務となっています。

市内で献血された血液が集めら
れる沼津の血液センターからも、



(成分献血) 毎週火・金曜日に沼津血液センターで実施しています
検査から採血終了まで、約1時間かかります

静岡県沼津赤十字血液センター案内図



△採血



△血圧測定と問診

血漿を北海道に送っています。その量は、昨年度千八百八十四リットルでした。また今年度は三千九百五十四リットル、来年度は五千リットルの計画目標量になっています。

献血者登録制度

特定の血液が不足した場合や、絶対量が不足している血漿を、安定して確保するために設けられたのが「献血者登録制度」です。全血献血と成分献血のいずれかを選択して登録します。また成分献血は血漿成分献血と血小板成分献血があり、必要に応じてどちらかの献血をすることになります。

血小板と白血球には、HLA型という血液型がありますが、大量の血小板輸血を受けている人の中には、抗体ができて治療効果が上がらなくなることがあります。このようなとき、HLA型の合った血小板輸血をすると治療効果が上がるので、登録者の中から適合する人に要請します。

登録は、沼津血液センター、献血車、市社会課にある登録申込書で行います。

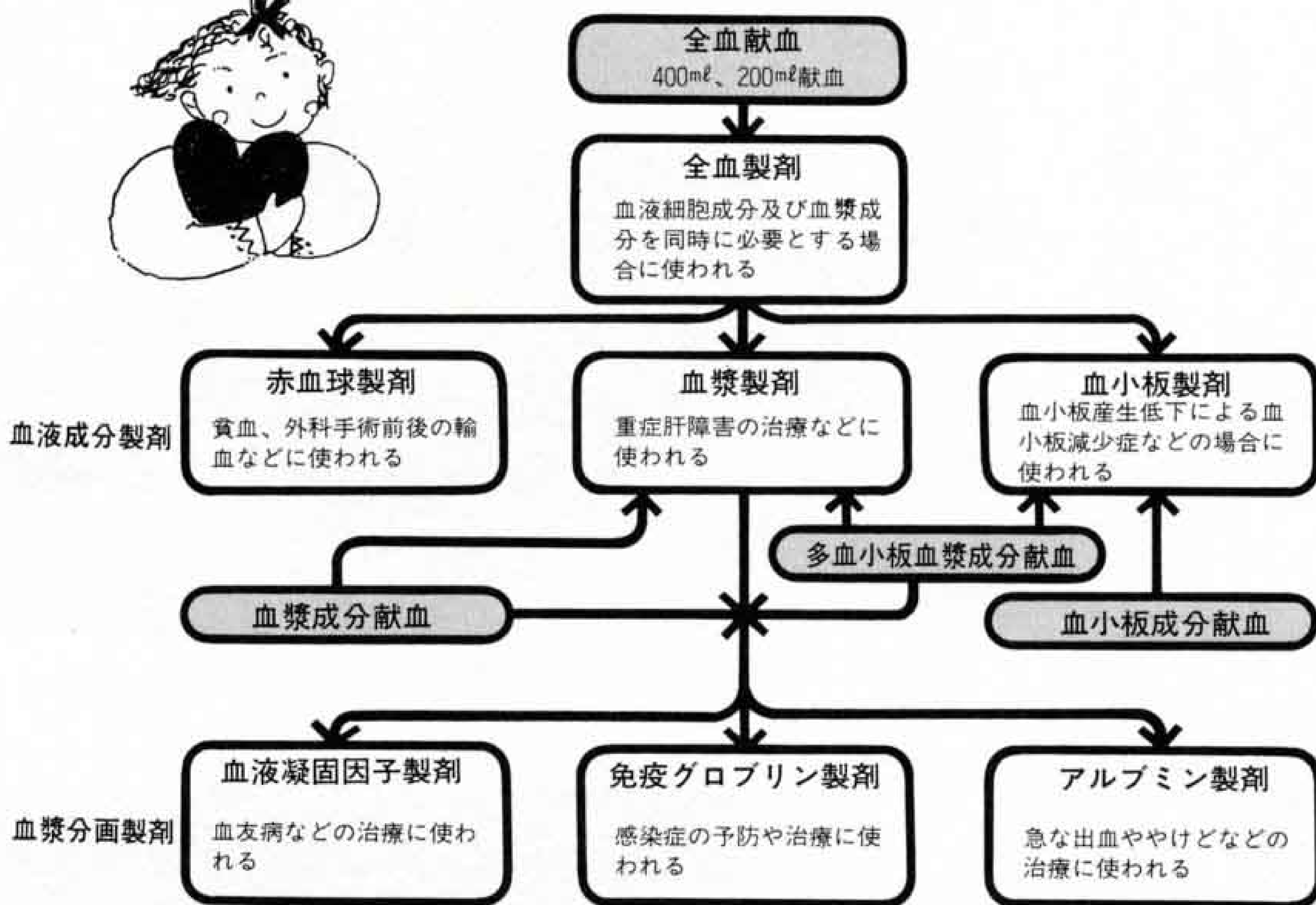
病気をうつされる

心配はありません

献血をするときに使われる針や血液のバッグなどは、一人ごとに新しいものと交換されます。ほかの献血者から、肝炎やエイズなどの病気がうつる心配は絶対ありません。安心して御協力ください。

献血された血液の流れ

献血された血液は、そのまま(全血製剤)、あるいは遠心分離して血液成分製剤(赤血球製剤・血小板製剤・血漿製剤)として、さらに血漿分画製剤(血液凝固因子製剤・免疫グロブリン製剤・アルブミン製剤)として有効に活用されています。



献血に関する問い合わせ
社会課 内線 二三三二



市立中央病院副院長 曾爾一顕さん

手術は、外科だけでも年間七百件を超えています。内、半分以上は大きな手術で、輸血を必要とします。また手術をしなくても、血漿などの成分輸血を必要とする患者さんも少なくありません。いつ皆さんが、そのような立場になるかもしれないことを考えれば、健康な人は、献血に積極的に協力したいものです。

健康なときに献血を



市中央消防署救急隊員 石川哲也さん

救急隊員を三年務めています。交通事故や労働災害の通報を受けて、救急車で出動しますが、出血していればすぐ止血します。腕や足を切断して、大量に出血した人を運んだこともありましたが、献血された血を輸血して、助かった人も多いため、私もおもいまま三回献血しましたが、これからも続けます。

すぐ止血をしますが